

2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 株式会社メルカリ 上場取引所 東
 コード番号 4385 URL https://about.mercari.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山田 進太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 SVP Corporate (氏名) 横田 淳 TEL 03 (6804) 6907
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	22,156	52.3	364	—	262	—	4,281	—
2020年6月期第1四半期	14,548	37.9	△7,010	—	△7,027	—	△7,113	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 92百万円 (—%) 2020年6月期第1四半期 △7,128百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	27.37	26.39
2020年6月期第1四半期	△46.79	—

(注) 2020年6月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	213,784	36,188	16.7
2020年6月期	198,014	35,368	17.6

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 35,602百万円 2020年6月期 34,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料（P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	156,585,954株	2020年6月期	156,150,364株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	2株	2020年6月期	2株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	156,402,017株	2020年6月期1Q	152,033,447株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが目指す「循環型社会の実現のために必要不可欠な存在になる」という中期的なありたい姿の実現に向けて、今年度においても幅広い層に愛されるサービスを目指し、健全性の強化や利便性の向上を進めております。

新型コロナウイルス(以下、COVID-19という)の状況下にある現時点においては、投資を抑制した経営を行なっておりますが、成長が見込まれる場合は、グロースを最優先した規律ある投資を進めてまいります。

メルカリJPでは、中長期での継続的な成長を図るため、引き続き出品の強化に取り組んでおります。また、COVID-19状況下において、「メルカリ教室」のオンライン化を本格展開する等、新規のユーザの獲得に注力することで新たな需要の創出に取り組んでおります。これらの結果、「メルカリ」の流通総額は、当第1四半期連結累計期間において1,706億円となり、前年同期比で437億円増加しております。

当社グループでスマホ決済サービスを実施しているメルペイは「メルペイスマート払い」等の与信事業の拡大によって収益化の準備に取り組んでおります。また、「メルペイ」の利用における本人確認、不正利用対策をより一層強化することで安心安全な利用環境の構築を進めております。これらの結果、「メルペイ」の利用者数は800万人(注)となり、順調に増加しております。

一方、メルカリUSではより簡単に安全に売れるマーケットプレイス「Mercari」の成長に向けて、認知度向上及び新規ユーザ獲得に加え、出品および配送の最適化に取り組んでおります。これらの結果、「Mercari」の流通総額は当第1四半期連結累計期間において307億円(為替レートについては、期中平均為替レート106.22円にて換算)となり、前年同期比で190億円増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高22,156百万円(前年同期比52.3%増)、広告宣伝費の減少等に伴い営業利益364百万円(前年同期は7,010百万円の損失)、経常利益262百万円(前年同期は7,027百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,281百万円(前年同期は7,113百万円の損失)となりました。

なお、当社グループはマーケットプレイス関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注)メルペイ「電子マネー」の登録を行ったユーザと、「メルペイコード決済」、「ネット決済」、「メルペイスマート払い(旧:メルペイあと払い)」等の利用者の合計(重複を除く)2020年10月5日時点。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15,770百万円増加し、213,784百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- 現金及び預金は、主に税金等調整前四半期純利益7,204百万円に、投資有価証券売却益6,942百万円、未収入金の増加11,136百万円、預け金の増加2,605百万円、預り金の増加5,766百万円を調整し、差入保証金の増加6,999百万円、有価証券の減少5,260百万円、投資有価証券の売却による収入6,942百万円、短期借入金の増加7,806百万円に伴い、前連結会計年度末に比べ3,821百万円増加しております。
- 有価証券は、保有する金融商品の償還に伴い、前連結会計年度末に比べ5,260百万円減少しております。
- 未収入金は、主に「メルペイスマート払い」の利用増加に伴い、前連結会計年度末に比べ11,136百万円増加しております。
- 預け金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額増加に伴い、前連結会計年度末に比べ2,605百万円増加しております。
- 投資有価証券は、主に保有する株式を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ5,629百万円減少しております。
- 差入保証金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額の増加に伴い、法令に基づいた供託を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ6,999百万円増加しております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ14,950百万円増加し、177,595百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- 短期借入金は、立替払い債権の流動化を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ7,806百万円増加しております。
- 預り金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額の増加に伴い、前連結会計年度末に比べ5,766百万円増加しております。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ820百万円増加し、36,188百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・資本金及び資本剰余金は、主に新株発行に伴い、前連結会計年度末に比べ合わせて727百万円増加しております。
- ・利益剰余金は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、前連結会計年度末に比べ4,281百万円増加しております。
- ・その他有価証券評価差額金は、主に保有する株式を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ3,997百万円減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、日本国内における「メルカリ」の安定的かつ継続的な成長を軸に、更なる企業価値の向上に向けて、米国事業やメルペイ事業を積極的に推進していく方針です。安定した収益基盤である日本のメルカリ事業に比べ、米国事業やメルペイ事業は投資フェーズにあります。これらの戦略的な投資により、連結業績を見通すことが困難であるため、予想の公表を控えております。規律のある戦略投資を行うことで、中長期での事業成長を重要視した経営を行って参ります。

COVID-19の影響に関して、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは、引き続き困難な状況にあります。現時点において、将来キャッシュ・フロー及び将来の事業環境等の予測にあたってCOVID-19の影響は、一定の影響を及ぼすものの、限定的であると判断しております。また、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに関して、重要な影響を与えるものではないと判断しております。しかしながら、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表に影響を与える可能性があるため、今後も注視して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	135,747	139,569
売掛金	1,119	1,752
有価証券	5,260	—
未収入金	15,612	26,748
前払費用	1,609	1,678
預け金	9,718	12,323
その他	1,614	1,396
貸倒引当金	△1,404	△1,260
流動資産合計	169,277	182,208
固定資産		
有形固定資産	2,905	2,884
無形固定資産	679	682
投資その他の資産		
投資有価証券	5,881	251
敷金	2,128	2,105
繰延税金資産	108	1,744
差入保証金	16,598	23,598
その他	435	309
投資その他の資産合計	25,151	28,009
固定資産合計	28,736	31,576
資産合計	198,014	213,784

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	7,806
1年内返済予定の長期借入金	900	734
未払金	16,206	17,089
未払費用	861	595
未払法人税等	1,427	3,135
預り金	83,954	89,721
賞与引当金	1,314	378
ポイント引当金	522	811
株式報酬引当金	177	532
その他	4,764	4,359
流動負債合計	110,128	125,164
固定負債		
長期借入金	51,547	51,446
退職給付に係る負債	75	81
資産除去債務	126	126
繰延税金負債	191	190
その他の引当金	6	—
その他	570	586
固定負債合計	52,516	52,431
負債合計	162,645	177,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,440	41,804
資本剰余金	41,396	41,759
利益剰余金	△51,870	△47,589
自己株式	△0	△0
株主資本合計	30,966	35,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,995	△1
為替換算調整勘定	△175	△370
その他の包括利益累計額合計	3,819	△372
非支配株主持分	582	586
純資産合計	35,368	36,188
負債純資産合計	198,014	213,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	14,548	22,156
売上原価	4,118	5,839
売上総利益	10,429	16,317
販売費及び一般管理費	17,440	15,953
営業利益又は営業損失(△)	△7,010	364
営業外収益		
受取利息	44	10
受取補償金	—	12
その他	8	14
営業外収益合計	53	38
営業外費用		
支払利息	57	59
為替差損	11	75
その他	1	5
営業外費用合計	70	139
経常利益又は経常損失(△)	△7,027	262
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,942
特別利益合計	—	6,942
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,027	7,204
法人税等	86	2,919
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,113	4,285
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,113	4,281

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,113	4,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,997
為替換算調整勘定	△14	△194
その他の包括利益合計	△14	△4,192
四半期包括利益	△7,128	92
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,128	88
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

当社グループは、マーケットプレイス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。